
イメチェン

愛・武者修行Lv 1

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イメチエン

【Nコード】

N5123BA

【作者名】

愛・武者修行LV1

【あらすじ】

イメチエンの話です。

学年で成績トップ3に入る【花舞 幻】はイメージチェンジしたいと思っていた。

そこで、クラスのマブダチの【大海 広】に相談した。

「俺、イメチェンしたいんだよね」幻は休み時間、黒ぶちの眼鏡をクイツと上げて広に言った。

「イメチェン？ どんな風にしたいんだい？」広に興味津々で聞いた。

「俺って、眼鏡かけてるし体も線が細いだろ？ もっとワイルドな男になりたいんだよ。どうしたらいいかな？」

「幻がそんな事考えていたとは意外だな。そうだな、まずは見た目から変えてみたらどうだい？」

「どこを変えたらいいかな」

「そうだな、まずはコンタクトにして、髪もおかっぱ頭やめて髪の毛を立たせるとか」

「広、サンキュー」

次の日、幻は眼鏡をコンタクトにし、ツンツン頭で登校した。

「似合ってるじゃん。一皮むけたよ」広は興奮気味に言った。

しかし、幻の表情はまだ暗い。

広が幻にどうしたのか訊ねると幻は「まだだ、もっとワイルドになりたい」と言った。

広はじゃあ、体でも鍛えたらどうだと幻に提案した。

次の日から、幻は学校にプロテインを持って来た。そして休み時間に腹筋、背筋、腕立て伏せをやり始めた。

広は日に日にマツチヨと化していく幻をなんとも言えない気持ちで眺めていた。

先生や周りの生徒達は、幻の変わりように驚愕していたが、幻の鬼気迫る顔に圧倒され、何も言えないでいた。

さらに数ヶ月が過ぎた。幻はまだ不満そうだ。

「くそつ、なんで思い通りにワイルドな男になれないんだ」昼食の時間、幻は持参した巨大な骨付き肉をむしゃぶりつきながら言った。

「何が、そんなに不満なんだよ。もう十分ワイルドじゃないか。どんなワイルドが理想なんだよ」広はあきれて言った。

「もっと、見た目だけじゃなく厳しい世の中を渡っていける野性味溢れる力強い男になりたいんだ」

次の日、教室で広は幻に話しかけた。「もういい加減にやめれば？ 見てることちが、疲れるよ」

「ウホッ？」幻は言った。

「ウホッ？ て何だ、ふざけてるのか？」

「ウホッ、ウホウホッ」

広はそれ以上追及しなかった。

それは、ワイルドじゃなくてただの退化だろう。

下校時刻になり、広はウホウホ言いながら胸を叩き帰宅する幻をどこか遠い目で眺めていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5123ba/>

イメチェン

2012年1月14日03時48分発行